



広報みすず

3
2021

第479号

美鈴が丘まちづくり協議会

美鈴が丘の魅力向上大作戦



団地内で救急車を見かける機会が増えてきた。高齢化率40%超の現状を考えるとやむを得ない事情かも知れない。諸般の事情で空家は今後とも増えて行く。高齢化して人口も減少していくと各種行事の参加者が減り行事の回数も減っていく。お世話をしてくれる人達も減り、新しい企画も減り賑わいも減っていく。長年に亘って美鈴モートル街で賑わい創造にご尽力された故平川会長の大きな功績の継承も重要な課題である。

この現状を見て、私達には何が出来るか考えてみたい。増えてくる空家に子育て世代が移り住んでくれるようになることが問題解決の鍵。「子どもが増えない」「子どもが育ってこない」と町は発展しない。子育て世代に魅力を実感して貰える施策の実現・継承が不可欠と考える。美鈴が丘の高齢者の内訳は6割が前期高齢者で、リタイアされた豊富なキャリアをお持ちの元気な人達が全体の4分の1の2千300人超おられる。この町の魅力を再確認し町を挙げて継承に努め、団塊の世代が後期高齢者になる前に出来るだけ良い形で次世代にバトンを渡す。魅力向上のポイント

①安全安心の環境強化。各組織・団体が駐在所と連携して子ども達の見守り活動は登下校時を含め献身的に行われているが、ボランティアの高齢化で先行き不安定。公園や路地でも子ども達の動向に目を光らせ、事故や犯罪から守るお節介な高齢者がもっと必要。「子どもは町の宝。地域で大切に育てる」。何よりも優先して取組む課題と考えている。

②賑わいのあるまちの維持発展を目指す。美鈴が丘には四大行事の他、季節ごとに多彩なイベントが開催されている。「広報みすず」の40数年のバックナンバーがその楽しい賑わいの歴史を伝えてくれている。楽しい町のイメージは魅力アップに大変重要。各種行事を円滑に実施するには各町内会の協体制が不可欠。町内会組織が積極的に機能して、各事業部・団体の活動をバックアップ。汗と知恵の努力なくして明るい未来は期待できない。



美鈴神社秋の例大祭-大人気の神楽

夏まつり~帰省する家族連れも多い

ガードボランティア登下校の見守り

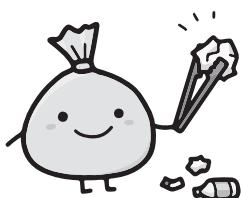
ひよこっこみすず東・乳幼児サロン

第2弾

上がり美鈴が丘の人口が増え、子供たちのU

ることを心掛けたいも

が隣の家に張り出した



連載 4



足場をきれいに整備

め立て整備
2
／
14

美鈴が丘公民館

学習グループのご案内 第4回

吹き矢みすず同好会スポーツ吹き矢で健康を射る

吹き矢みすず同好会は美鈴が丘団地内の会員14人で活動しています。月4回第2・4水曜第1・4日曜1時30分～4時30分です。

最初は「吹き矢：忍者のまねですか」と怪しまれることもありましたが、吹き矢の魅力は、腹式呼吸による健康効果。県立広島大学の教授が広島県大会開催のたびに全員の呼吸測定を実施しています。データで同年輩の人と比べてかなり強くなりま



的と矢

す。初めての時でも、無心で的の中心を見て吹いてもらうと「当たります」。人間の目線と筒の方向は一致します。当たってパーンと気持ちの良い音に魅せられて、吹き矢のとりこになった方は多いです。ゲーム感覚で楽し



練習風景

みながら得点を競う競技です。的は直径120cm、矢の長さは20cmのフィルムで1g、安全のため矢の先は丸くなっています。的は同心円が描かれており、中心から7・5・3・1点と色分けされています。中心の7点が直径6cmです。1ラウンド5本吹きます。5本全て7点

連絡先 桑原
080-6313-6919

◆認知症予防講座

地域包括支援セン

ターのお世話で公民館で開催。テーマは「恐れず暮らそう！認知症」。講師は認知症地域支援推進員で佐伯区担当の中川さん。認知症とは病気の名前ではなく症状の事で脳の老化現象により誰でもなりえるもの。昔の記憶はあるが新しい事は覚えられない。記憶障害により何度も同じ事を聞いたり約束事を忘れたり、物盗られ妄想や

◆防災講演会

防災まちづくり事業

の一環として防災部や防災士・各自主防災会が指定避難場所の他、この町で体験した危険な場所や緊急時に役立つ公衆電話・トイレ・AED等の場所情報を明記して機動性を折込み利便性が格段に向上した「わがまち防災マップ」を手作り。ご指導ご支援を頂いた佐伯区

徘徊など。叱り咎めると敵意を持つようになる。脳は壊れかけても感情は生きているので安心して快さを感じてもらえるように接する。認知症予防には

- ①人との交流で情報伝達回路を活性化する。交流してないと認知症リスクが8倍にも
- ②毎日規則正しく頭を使って生活。脳は筋肉と同じで使われないと機能が劣化。
- ③歯を大切に。歯周病等の原因でしっかり

噛めない脳への刺激が減るだけでなく、唾液が減少し細菌が増えて誤嚥性肺炎の危険性が増すので要注意。



予防には栄養・運動・交流が大切

役所地域起こし推進課・有福主査を講師にお招きし有意義な「防災マップの活用方法」について研修。地図作成を良い契機にして自らリスク管理に取り組み、防災意識の更なる向上を期待。地図の裏面には土砂災害だけでなく地震対応の情報も載せているので、ご家族皆で共有して欲しい。行政に命を預けないで自助



日頃から家族で相談・確認

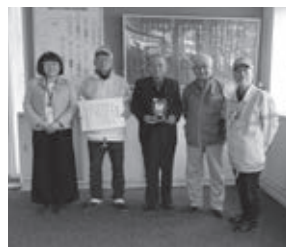


いざと言う時の為に体験が大切

◆普通救命講習会 2/14
 救命処置が必要な時は突然にやって来る。目の前に倒れている人(家族)がいたら何をするか、と言うことを想定して恒例の講習会が八幡消防署の花岡氏を講師に16名が参加して公民館で開催。119番通報から6、9分で救急車は到着するが、その間に心肺蘇生法の救命処置を行うことで救命率が格段に上がる。息が止まると15秒位で意識低下。何もしないと、助かっても重い障害が残る。躊躇せず救急車を呼び、到着するまで胸骨圧迫。救命のリレーで命のバトンをつないで行く。

◆ガードボランティアが「令和2年度広島市交通安全功労市長表彰」を受賞
 教育委員会及び美鈴が丘小学校からの推薦により、児童の見守りをして頂いている美鈴が丘地区ガードボランティア(現在58人が登録)が表彰され、2月9日広島市役所市長公室にて表彰式が行われました。代表として西街区の中本雅策様が出

席されました。翌日の10日(水)には、東街区代表の江島健様、緑街区代表の阪井孝一様、南街区代表の山城剛様も来校され、表彰の報告会を行いました。
 (美鈴が丘小学校 上田教頭)



各街区代表が表彰の報告

◆イノシシにご注意

◆出没情報多数
 昨年10月ごろから中央公園、テニスコート付近、調整池辺りにイノシシが出没したとの目撃情報が多数寄せられています。小学校のメールでも再三注意喚起がなされていますが、目撃した場合は、その場を離れ警察に連絡してください。調整池の近辺に住みついているという情報もあり十分注意・警戒の事。

◆緑街区けやき通りでイノシシ防護柵設置 12/20

まちづくり協議会ではイノシシ対策のため、幅2m高さ1mの金網約100枚で、桜植樹済みの斜面全体を囲った。スイセンの球根が荒らされずに済むと期待。
 (小川)



イノシシ防護柵

エンジョイスポーツ 美鈴が丘

★第83会遊輪会ゴルフ
 コンペ鈴が峰K12/18
 1位 砂田 岩男
 2位 岡田 幸男
 3位 馬場 隆志

★シニアクラブ
 グラウンドゴルフ 12/5
 男子1位 山西(東5)
 2位 江藤(東4)
 3位 堀井(東5)
 女子1位 山本(南2)
 2位 旭野(東3)
 3位 井原(西4)

★ペタンク同好会 2/6
 1位 笠井・福原
 2位 笠井(敏)
 3位 廣畑・河内
 旭野(勝)
 江藤・竹下

★体協グランドゴルフ部
 月例会 1/14
 1位 玉井(南2)
 2位 大深(緑1)
 3位 笠井(南2)

★街角ウォッチング★

毎年ユーモラスなディスプレイを見せられている西2丁目花岡さん。今年は丑年です。



◆東第五公園の名物桜が伐採されました 2/22

公園上部にある堰堤からの土砂流出防止対策のため、側溝拡幅整備を進めることになり、その工事に伴い山際の4本の桜が伐採されることになりました。春になると幼稚園児の活動場所や町民の花見など長年私たちを楽しませてくれ、美鈴が丘の中でも有数の桜の見どころでした。伐採した樹はベンチなどのモニュメントにできないか検討中です。



広報みすず 第479号
 発行 美鈴が丘まちづくり協議会
 発行日 令和3(2021)年3月5日

きさらぎ旬会
 ◎今月の一句
 輪読の古文蛙の
 目借時
 麻耶子

お詫びと訂正
 1月号の記述で誤りがありました。謹んで左記の通り訂正致します。
 ■おくやみ欄
 (誤) 12/3 平川和男様(80)
 (正) 12/4 平川和男様(80)
 11/10 宮脇 淳様(64)西4
 1/13 中本 康則様(73)南4
 ご冥福をお祈りします。

こんにちは赤ちゃん ㊿
 お誕生おめでとう。
 廣岡 凛ちゃん 9/27 西4
 松下 煌河くん 12/4 南4
 真下 煌土くん 12/12 西4
 あなたはまちの宝物。
 地域のみんで大切にします。